

## 「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

## ※総合開発特別委員会(平成25年7月3日)以降の経過

平成25年7月3日	総合開発特別委員会を開催(訓練移転に関する訓練計画概要等を報告)
平成25年7月4日	植苗・美沢地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・16名参加
平成25年7月5日	沼ノ端地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・11名参加
平成25年7月6日	勇払地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・9名参加
平成25年7月8日 ～ 12日	訓練移転実施
平成25年7月13日	北海道防衛局訓練移転現地連絡本部が閉所(11:00)
平成25年7月18日	「第20回苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
平成25年7月23日	苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会にて訓練結果を検証
平成25年7月29日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催(北海道防衛局)
平成25年8月6日	嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について(通知)

## 新田原基地訓練移転調査について

## 1 訓練概要

- (1) 訓練時期 平成25年6月17日(月)～21日(金) (台風接近のため17～19日で終了)
- (2) 訓練形態 タイプⅡ
- (3) 参加部隊 [米軍]第12海兵航空群(岩国)  
[航空自衛隊]第5航空団、第8航空団、西部航空警戒管制団
- (4) 演練項目 戦闘機戦闘訓練等
- (5) 訓練空域 四国沖空域
- (6) 参加規模 [米軍]FA-18×8機程度、人員約120名程度  
※人員、物資輸送のため輸送機が飛来予定  
[航空自衛隊]F-4×4機程度、F-2×4機程度、F-15×4機程度

## 2 調査結果

	九州防衛局	宮崎県新富町
日米共同訓練に係る協定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年4月16日福岡防衛施設局と基地周辺の2市3町(新富町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町)との間で「米軍再編に係る新田原基地への訓練移転に関する協定書」を締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年4月16日福岡防衛施設局と基地周辺の2市3町(新富町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町)との間で「米軍再編に係る新田原基地への訓練移転に関する協定書」を締結</li> <li>平成19年5月10日町独自の覚書を締結</li> </ul>
住民周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表 6月10日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月10日に訓練を計画していると連絡あり</li> <li>6月10日に全員協議会を開催</li> <li>[6月10日公式発表後]</li> <li>6月11日 全戸に文書配布</li> </ul>
米兵の行動把握について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事件やトラブルは無かった</li> <li>宿泊先:基地内隊舎</li> <li>人数:約120名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場内に連絡本部設置</li> <li>外出はあったが、飲酒規制等(アルコール2杯まで)あり問題等は無かった</li> </ul>
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定測定局6ヶ所</li> <li>臨時測定局12ヶ所(新富町・西都市各5ヶ所、宮崎市・高鍋町各1ヶ所)</li> <li>測定結果は地元自治体に報告</li> <li>騒音測定結果(18局の最大値範囲)</li> <li>米軍機 63～101dB</li> <li>自衛隊機 75～101dB</li> <li>騒音苦情件数 0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防衛局の固定測定局 町内3ヶ所</li> <li>防衛局の臨時測定局 町内5ヶ所</li> <li>町の固定測定局5ヶ所</li> <li>町の臨時測定局3ヶ所</li> <li>防衛局・町データはホームページへ掲載</li> <li>騒音測定結果</li> <li>米軍機 63～114dB</li> <li>自衛隊機 75～113dB</li> <li>騒音苦情件数 0件</li> </ul>

(お知らせ)

平成 25 年 8 月 6 日  
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場からグアム等への訓練移転（単独訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。本訓練移転は、平成 23 年 1 月及び 10 月の日米合同委員会合意に基づき、嘉手納飛行場の航空機による訓練を、グアム等へ移転することを計画するものであり、今回が 10 回目となります。

- 訓練期間：平成 25 年 8 月 12 日（月）～ 8 月 23 日（金）  
（但し、土曜日及び日曜日は、訓練を行わない。）
- 参加部隊：第 18 航空団（嘉手納）
- 訓練場所：グアム島のアンダーセン空軍基地及びその周辺区域
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練
- 参加規模：F-15×18 機程度、早期警戒管制機×2 機等  
人員約 340 名程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

## 国内の米軍基地での騒音発生回数の推移

飛行場	年度	測定地点	1日当たりの平均騒音発生回数	年間騒音発生回数	備考
1 嘉手納飛行場	平成16年度	(H17.12 局より回答された数値)	197	72,000	
	平成17年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	116	41,810	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	65	23,318	
		滑走路両端計	181	65,128	
	平成18年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	109	39,948	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	66	24,002	
		滑走路両端計	175	63,950	
	平成19年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	104	37,794	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	58	21,230	
		滑走路両端計	162	59,024	
	平成20年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	97	35,286	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	59	21,514	
		滑走路両端計	156	56,800	
	平成21年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	96	35,094	
嘉手納基地内(県道側)沖縄市		63	22,937		
滑走路両端計		159	58,031		
平成22年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	81	29,467		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	63	22,931		
	滑走路両端計	144	52,398		
平成23年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	71	24,365		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	49	17,695		
	滑走路両端計	120	42,060		
平成24年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	71	24,555		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	53	18,990		
	滑走路両端計	124	43,545		
2 岩国飛行場 (自衛隊機含む)	平成16年度	(H17.12 局より回答された数値)	137	50,000	
	平成17年度	岩国基地滑走路南側	62	22,620	
		岩国基地滑走路北側	66	24,144	
		滑走路両端計	128	46,764	
	平成18年度	岩国基地滑走路南側	75	27,537	
		岩国基地滑走路北側	75	27,462	
		滑走路両端計	150	54,999	
	平成19年度	岩国基地滑走路南側	72	26,321	
		岩国基地滑走路北側	72	26,237	
		滑走路両端計	144	52,558	
	平成20年度	岩国基地滑走路南側	68	23,250	
		岩国基地滑走路北側	67	24,237	
		滑走路両端計	135	47,487	
	平成21年度	岩国基地滑走路南側	66	24,012	
岩国基地滑走路北側		64	23,090		
滑走路両端計		130	47,102		
平成22年度	岩国基地新滑走路南側	61	18,377	5/29からのデータ (5/29より新滑走路運用開始)	
	岩国基地新滑走路北側	62	18,545		
	滑走路両端計	123	36,922		
平成23年度	岩国基地新滑走路南側	62	22,423		
	岩国基地新滑走路北側	62	22,537		
	滑走路両端計	124	44,960		
平成24年度	岩国基地新滑走路南側	72	26,047		
	岩国基地新滑走路北側	63	22,847		
	滑走路両端計	135	48,894		

3 三沢飛行場 (自衛隊機、 民航機含む)	平成16年度	(H17.12局より回答された数値)	<b>186</b>	<b>68,000</b>	
	平成17年度	飛行場内(西)	97	35,385	
		飛行場内(東)	99	36,254	
		滑走路両端計	<b>196</b>	<b>71,639</b>	
	平成18年度	飛行場内(西)	97	35,325	
		飛行場内(東)	99	35,969	
		滑走路両端計	<b>196</b>	<b>71,294</b>	
	平成19年度	飛行場内(西)	93	33,794	
		飛行場内(東)	93	33,677	
		滑走路両端計	<b>186</b>	<b>67,471</b>	
	平成20年度	飛行場内(西)	84	30,401	
		飛行場内(東)	85	30,710	
滑走路両端計		<b>169</b>	<b>61,111</b>		
平成21年度	飛行場内(西)	78	28,103		
	飛行場内(東)	81	29,160		
	滑走路両端計	<b>159</b>	<b>57,263</b>		
平成22年度	飛行場内(西)	66	23,892		
	飛行場内(東)	67	24,191		
	滑走路両端計	<b>133</b>	<b>48,083</b>		
平成23年度	飛行場内(西)	82	29,611		
	飛行場内(東)	84	30,557		
	滑走路両端計	<b>166</b>	<b>60,168</b>		
平成24年度	飛行場内(西)	87	31,754		
	飛行場内(東)	89	32,331		
	滑走路両端計	<b>176</b>	<b>64,085</b>		

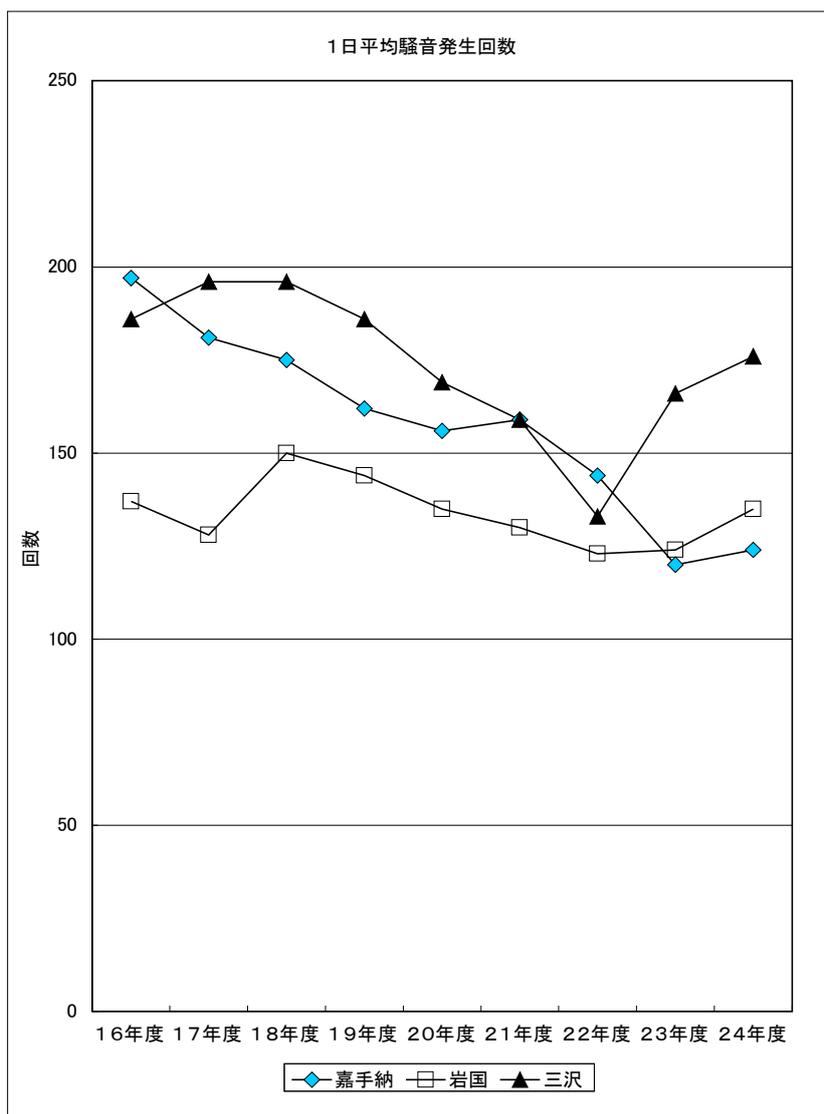
※騒音発生回数データは、各防衛局HPより

# 国内米軍基地の航空騒音状況

上段：1日当りの平均騒音発生回数

下段：年間騒音発生回数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
嘉手納	197	181	175	162	156	159	144	120	124
	72,000	65,128	63,950	59,024	56,800	58,031	52,398	42,060	43,545
岩国	137	128	150	144	135	130	123	124	135
	50,000	46,764	54,999	52,558	47,487	47,102	36,922	44,960	48,894
三沢	186	196	196	186	169	159	133	166	176
	68,000	71,639	71,294	67,471	61,111	57,263	48,083	60,168	64,085



## 米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

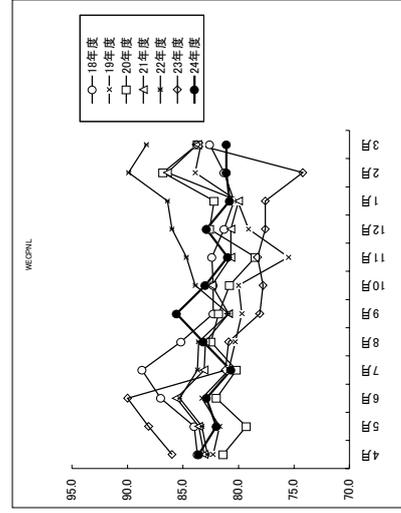
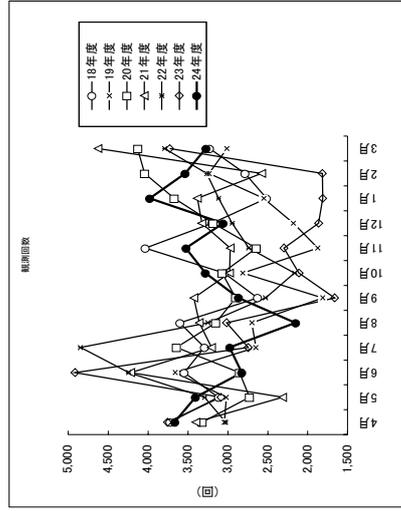
照	会	項	目	沖	縄	市	嘉	手	納	町	北	谷	町
(1) 平成24年度の環境基準超過日数を教えてください。			23年度 (前回)	市内の4ヶ所の測定局	367日	町内の4ヶ所の測定局	871日	町内の4ヶ所の測定局	423日	町内の4ヶ所の測定局			
			24年度 (今回)	市内の4ヶ所の測定局	313日	町内の4ヶ所の測定局	855日	町内の4ヶ所の測定局	408日				
2	カ	年	度	の	比	較	-15日	-16日	-54日				
(2) 平成24年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数につきまして、把握されておりましたら教えてください。				当市において外来機の機数は数えておりませんが、沖縄防衛局の情報や、新聞報道等により把握した平成24年度の外来機の機数は、約70機です。		嘉手納町基地渉外課職員の見視調査、新聞等の情報に基づいています。 ・平成18年度 61機 ・平成19年度 42機 ・平成20年度 105機 ・平成21年度 358機 ・平成22年度 252機 ・平成23年度 75機 ・平成24年度 96機		訓練移転が実施される中、嘉手納飛行場には国内外を問わず他基地所属の外来機が頻繁に飛来し、ほぼ常駐状態であり、住民が実感できざるの負担軽減にはなっていないと見受けられます。航空機の訓練移転等による離着回数が増加していると思われ、本町の隣にある宜野湾市普天間飛行場から本町の西側を低空飛行する海兵隊ヘリの騒音等、両飛行場から発生する騒音が町民生活に様々な影響を及ぼしております。					
(3) 平成24年度の訓練移転実施により、貴市(町)への負担が軽減されたとお考えですか。				沖縄の負担軽減のため、貴市での訓練移転受け入れについて感謝申し上げます。しかしながら、本市の実態と致しましては、平成25年1月から約4ヶ月の予定で暫定配備されたF22戦闘機は、配備期間を延長し、現在でも訓練を続けており、目に見えない負担軽減となっていないと難しい状況です。		平成25年1月末から2月中旬にかけて行われた、嘉手納基地所属F15戦闘機のグアム島への訓練移転の際には、騒音発生回数に大きな変化は見られなかった。訓練移転がなされても外来機の飛来がある場合、負担軽減には繋がらないと考える。		訓練移転が実施される中、嘉手納飛行場には国内外を問わず他基地所属の外来機が頻繁に飛来し、ほぼ常駐状態であり、住民が実感できざるの負担軽減にはなっていないと見受けられます。航空機の訓練移転等による離着回数が増加していると思われ、本町の隣にある宜野湾市普天間飛行場から本町の西側を低空飛行する海兵隊ヘリの騒音等、両飛行場から発生する騒音が町民生活に様々な影響を及ぼしております。					

# 嘉手納基地周辺地域騒音測定結果及び嘉手納基地への外来機数

## 嘉手納基地周辺地域騒音測定結果

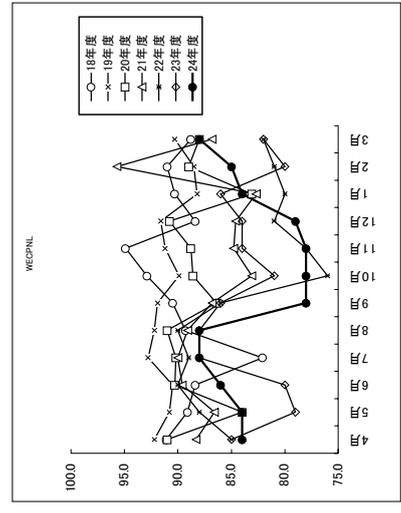
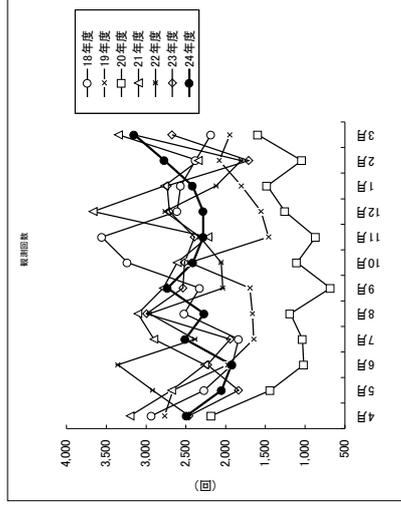
嘉手納町 測定局名: 屋良

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
4月	3,726	3,044	3,323	3,399	3,028	3,757	3,667
5月	3,119	3,021	2,730	2,313	3,292	3,086	3,408
6月	3,549	3,660	2,854	4,217	4,241	4,915	2,827
7月	3,293	2,649	3,645	3,206	4,846	2,746	2,977
8月	3,602	2,700	3,152	3,357	3,250	3,017	2,151
9月	2,629	1,810	2,904	3,427	2,528	1,660	2,866
10月	3,046	2,814	3,073	2,979	2,164	2,107	3,281
11月	4,034	1,872	2,645	2,971	2,738	2,298	3,526
12月	3,201	2,179	3,185	3,327	2,945	1,862	3,060
1月	2,515	2,551	3,674	3,383	3,116	1,810	3,979
2月	2,786	3,236	4,042	2,579	3,264	1,816	3,536
3月	3,231	3,013	4,130	4,627	3,792	3,729	3,276



北谷町 測定局名: 秒辺

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
4月	2,933	2,767	2,179	3,201	2,461	2,461	2,491
5月	2,269	2,661	1,439	2,679	2,918	1,839	2,052
6月	1,917	1,975	1,016	2,262	3,355	2,228	1,927
7月	1,836	1,645	1,031	2,900	2,386	1,942	2,510
8月	2,519	1,663	1,188	3,103	2,959	2,995	2,269
9月	2,327	1,695	681	2,783	2,036	2,537	2,729
10月	3,234	2,452	1,103	2,609	2,057	2,518	2,410
11月	3,557	1,461	865	2,222	2,324	2,393	2,282
12月	2,608	1,555	1,256	3,667	2,762	2,708	2,281
1月	2,565	1,802	1,479	2,768	2,119	2,734	2,416
2月	2,378	2,080	1,040	2,342	1,807	1,711	2,769
3月	2,184	1,948	1,594	3,349	3,158	2,677	3,149



嘉手納基地への外来機数

16年度	205機
17年度	89機
18年度	61機
19年度	42機
20年度	105機
21年度	358機
22年度	252機
23年度	75機
24年度	96機

※H19.1～12まで北側滑走路工事のため閉鎖

※F15戦闘機不具合のため約3ヶ月一時飛行停止

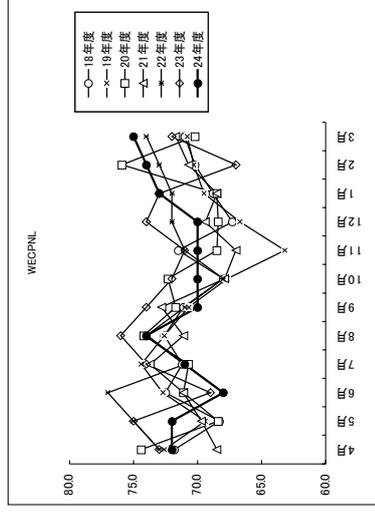
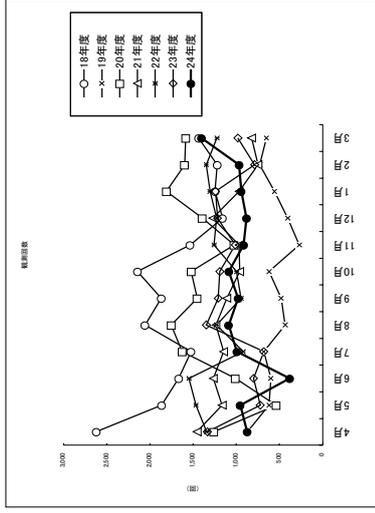
※H22.10～23.7まで南側滑走路工事のため閉鎖

※H23.7～24.2まで北側滑走路改修工事のため閉鎖

沖縄市 測定局名: 知花

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
4月	2,622	870	1,260	1,455	1,344	1,334	873
5月	1,866	620	540	1,164	1,467	723	955
6月	1,688	600	1,011	1,266	1,548	801	382
7月	1,525	682	1,627	1,147	919	683	993
8月	2,058	434	1,755	1,236	1,230	1,347	1,089
9月	1,869	480	1,454	1,111	944	1,210	978
10月	2,145	620	1,524	961	997	1,190	1,086
11月	1,536	270	1,025	968	1,257	1,012	916
12月	1,159	403	1,395	1,272	1,227	1,218	882
1月	1,246	558	1,811	968	1,304	1,242	943
2月	1,220	728	1,599	750	1,348	788	968
3月	1,438	651	1,585	824	1,223	981	1,404

WECPNL	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
4月	71.8	72.6	74.4	68.5	73.0	73.0	72.0
5月	68.3	69.4	68.4	69.7	75.0	75.0	72.0
6月	72.5	72.7	71.1	71.1	77.0	69.0	68.0
7月	71.2	74.4	70.7	73.7	71.0	74.0	71.0
8月	72.6	72.6	74.2	71.1	74.0	76.0	74.0
9月	71.1	70.7	71.7	72.8	71.0	74.0	70.0
10月	68.0	67.7	72.3	67.9	68.0	72.0	70.0
11月	71.5	63.2	68.5	67.0	71.0	71.0	70.0
12月	67.3	66.7	68.4	69.4	72.0	74.0	70.0
1月	68.8	69.5	68.5	68.5	72.0	73.0	73.0
2月	70.2	70.3	75.9	70.7	73.0	67.0	74.0
3月	71.0	70.8	70.2	71.7	74.0	72.0	75.0



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書（中間）

【 訓練期間 平成25年7月8日（月）

～平成25年7月12日（金） 】

平成25年9月

苫 小 牧 市

## 目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績	1
米軍再編に係る各基地の訓練移転経過	2
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	4
米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について （6月17日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	7
米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について （7月1日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	11
地域説明会の開催結果について	15
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 米軍ブリーフィング・北海道防衛局による説明会関係	16
千歳基地への訓練移転実施内容（結果）について	30
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について	31
訓練移転に伴う騒音測定結果について	32
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会（訓練検証）の結果	47
苫小牧市の検証結果	51

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績

訓練月日	参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1 H20. 2. 25～H20. 2. 28	海兵第12飛行大隊に所属する 派遣海軍部隊（岩国）	タイプI訓練 F A-18×4機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2回	なし
2 H20. 12. 8～H20. 12. 12	第18航空団（嘉手納）	タイプI訓練 F-15×5機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5回	あり
3 H21. 4. 20～H21. 4. 23	米海兵第12飛行大隊（岩国）	タイプI訓練 F A-18×5機 人員 32名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	1回	あり
4 H22. 11. 8～H22. 11. 19	第18航空団（嘉手納）	タイプII訓練 F-15×12機 人員 約170名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	9回	あり
5 H24. 9. 5～H24. 9. 7	第12海兵航空群（岩国）	タイプI訓練 F A-18×4機 人員 約20名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5回	あり
6 H25. 7. 8～H25. 7. 12	第35戦闘航空団（三沢）	タイプII訓練 F-16×6機 人員 約80名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	8回	あり

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度		H19.1.11に通知、3月を目途とし回数不明記はないが1回と思われる			
	築城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の連絡会議(道・吉小牧・千歳)	
	計	築城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣	
19	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度		H19.1.31に通知			
	小松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。
	築城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無	
	三沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣	
	百里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣	
	小松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	II	嘉手納	無	F15事故調査のため中止
	百里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無	
	千歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
20	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 併せて10回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度		H20.6.20に通知			
	三沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	II	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無	
	小松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	無	
	千歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無	
21	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度		H21.1.28に通知			
	千歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣	
	三沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	II	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。
	百里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止。テスト飛行1回のみ。
	小松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	II	①岩国 ②三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行われていない。
	百里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	II	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	II	岩国	無	2/27・28,3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
築城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。	
22	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度		H22.1.29に通知			
	小松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	II	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	千歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	II	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。
	小松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	II	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定		H23.10.4に通知			
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無	
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無	
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回			I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し	

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24. 3. 22に通知	
	グアム	H24. 5. 14(月)～6. 8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24. 9. 5(水)～9. 7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24. 9. 27(木)～10. 25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24. 11. 29(木)～12. 18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25. 1. 14(月)～1. 18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	グアム	H25. 1. 21(月)～1. 30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H25. 1. 29(火)～2. 15(金)	F15×12機 約260人	グアム	嘉手納	無		
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回			
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25. 3. 27に通知	
	新田原	H25. 6. 17(月)～6. 21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25. 7. 8(月)～7. 12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25. 8. 12(月)～8. 23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無		
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:1回 計:3回		I:0回 II:2回 グアム:1回	三沢:1回 岩国:1回 嘉手納:1回			

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【訓練期間：平成25年7月8日（月）～12日（金）】

- H25. 6. 14(金)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
  - ・ 連絡協議会開催日程を記者クラブへ通知
- H25. 6. 17(月)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会開催（北海道防衛局）、概略通知が示される
  - ・ 第19回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
  - ・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔概略通知〕について）
  - ・ 概略通知をホームページ掲載及び「市役所だより」、  
「広報とまこまい（7月号）」へ掲載依頼
  - ・ 概略通知を市議会議員へ連絡
- H25. 6. 18(火)
- ・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（商工会議所、医師会、警察等）
  - ・ 町内会連合会への説明日程を記者クラブへ通知
- H25. 6. 19(水)
- ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催案内送付及び記者クラブへ通知
  - ・ 地域説明会日程をホームページ掲載
- H25. 6. 20(木)
- ・ 町内会連合会へ説明
- H25. 6. 26(水)
- ・ 地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載
  - ・ 「地域説明会のお知らせ」を航路下3地区へ全戸配布（26～28日）
- H25. 6. 27(木)
- ・ 総合開発特別委員会にて概略通知等を説明
- H25. 6. 28(金)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
  - ・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知
  - ・ 地域説明会日程を記者クラブへ通知
  - ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会開催（総合政策部、環境衛生部、危機管理室）
- H25. 7. 1(月)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会開催（北海道防衛局）、詳細通知が示される
  - ・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔詳細通知〕について）
  - ・ 詳細通知を市議会議員へ連絡
  - ・ 詳細通知をホームページ掲載及び「市役所だより」へ掲載依頼
  - ・ 関係団体へ詳細通知を示し訓練移転への協力依頼  
（町内会連合会、商工会議所、医師会、警察等）
  - ・ 北海道防衛局より、戦闘機見学、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会開催案内
- H25. 7. 2(火)
- ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（植苗ファミリーセンター）
- H25. 7. 3(水)
- ・ 総合開発特別委員会開催
- H25. 7. 4(木)
- ・ 植苗・美沢地区地域説明会（植苗ファミリーセンター）
- H25. 7. 5(金)
- ・ 沼ノ端地区地域説明会（沼ノ端児童体育館）

- H25. 7. 6(土)
- ・ 勇払地区地域説明会（勇払公民館）
  - ・ 航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
  - ・ 米軍の人員約10名千歳基地に到着（13:10、民航機）
- H25. 7. 7(日)
- ・ 米軍の人員約60名千歳基地に到着（8:50、米軍輸送機）
  - ・ 米軍の物資が千歳基地に到着（12:55到着、米軍輸送機）
- H25. 7. 8(月)
- ・ 戦闘機見学、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会開催
  - ・ 市職員1名、航空自衛隊千歳基地内へ（～12日）
  - ・ 米軍の戦闘機F-16×4機・人員4名千歳基地に到着（10:23、11:00到着）
  - ・ 米軍の戦闘機F-16×2機・人員2名千歳基地に到着（11:21到着）
  - ・ 本日（7月8日(月)）の千歳基地における訓練移転を実施する予定との通知
  - ・ 午後、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練  
三沢東方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
  - ・ 土日（7月6・7日）の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
- H25. 7. 9(火)
- ・ 本日（7月9日(火)）の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
  - ・ 午前、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機4機で訓練
  - ・ 午後、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練  
三沢東方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
  - ・ 昨日（7月8日(月)）の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
- H25. 7. 10(水)
- ・ 本日（7月10日(水)）の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
  - ・ 午前、米軍機（F-16×4機）  
北海道西方空域において、米軍機4機で訓練
  - ・ 午後、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練  
三沢東方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
  - ・ 昨日（7月9日(火)）の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
- H25. 7. 11(木)
- ・ 本日（7月11日(木)）の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
  - ・ 午前、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機4機で訓練
  - ・ 午後、米軍機（F-16×4機）、自衛隊機（F-15×4機）  
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機4機で訓練
  - ・ 昨日（7月10日(水)）の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
- H25. 7. 12(金)
- ・ 本日（7月12日(金)）の訓練について、午前一有の実施予定通知
  - ・ 午前、米軍機（F-16×6機）、自衛隊機（F-15×6機）  
三沢東方空域において、米軍機6機・自衛隊機6機で訓練  
※空域での訓練終了後、米軍機6機は三沢基地へ帰還
  - ・ 昨日（7月11日(木)）の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
  - ・ 人員輸送のため米軍輸送機が到着（12:28）
  - ・ 米軍本隊約60名が米軍輸送機で帰還（15:21）
  - ・ 市長記者会見（訓練終了について）

- H25. 7. 13(土)
- ・ 物資輸送のため米軍輸送機が到着 (8:07)
  - ・ 米軍の物資・米軍人約10名が米軍輸送機で千歳基地を出発 (10:11)
  - ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所 (11:00)
  - ・ 訓練終了をホームページ掲載
  - ・ 昨日 (7月12日(金)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
- H25. 7. 16(火)
- ・ 関係団体へ訓練移転終了について報告 (町内会連合会、商工会議所、医師会、警察等)
  - ・ 訓練終了を「市役所だより」へ掲載依頼
- H25. 7. 18(木)
- ・ 第20回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催 (訓練結果(中間)報告)
- H25. 7. 23(火)
- ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会にて訓練結果を検証
- H25. 7. 26(金)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催連絡あり
  - ・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知
- H25. 7. 29(月)
- ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する  
連絡協議会開催 (北海道防衛局)
- H25. 9. 12(木)
- ・ 総合開発特別委員会開催 (訓練結果(中間)報告)

平成25年6月17日

北海道防衛局

### 米軍再編に係る千歳基地における訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転として、現在、千歳基地において7月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

## 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」 での要請事項及び回答

### 北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

#### 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

訓練の期日や参加部隊等の詳細は、改めて通知されるとのことだが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び北海道で構成する「連絡会議」として、次の6項目について要請する。

- ① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
- ② 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- ③ 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。
- ④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- ⑤ 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期すこと。
- ⑥ 説明会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

### 北海道の個別要請

在日米軍の基地問題など、特に注目されていることに鑑み、速やかに情報提供を行い、基地周辺に限らず、道民が不安を抱かないようにしていただきたい。

## 千歳市の個別要請

- ① 今後の具体的な訓練計画の策定にあたっては、協定内容を遵守すること。  
特に市民の不安を払拭するためには、無事故が大前提となるので、訓練の安全確保、騒音、治安対策に万全の体制を執ること。
- ② 千歳市では、訓練に参加する米軍人が外出することを前提として、市内の飲食店等の関係者と情報の共有化を図り、共通の理解の下で緊急の連絡体制の確認のため連絡調整会議を開催している。前回訓練時も開催し、その際には北海道防衛局から職員を派遣し説明いただいた。今回も担当職員の派遣について、特段のご配慮を。
- ③ 今回訓練する米軍の部隊が判明していれば、教えていただきたい。
- ④ 現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話について、前回と同様に固定電話を設置すること。

## 苫小牧市の個別要請

- ① これまでの協議経過を踏まえ、協定書及び協議・確認書を遵守すること。
- ② 現地説明会及び米軍ブリーフィングなどを含め、丁寧な説明を行うこと。
- ③ 米軍人の外出時等の対応及び訓練に関する情報提供を速やかに行うこと。
- ④ 昨年のF 1 6 戦闘機墜落事故や本年5月のF 1 5 戦闘機墜落事故直後ということもあり、住民は安全面で非常に不安を抱えていることから、機体点検等を徹底し、安全確保に努めること。また、F 1 5 戦闘機墜落事故の事故原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うこと。
- ⑤ 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。
- ⑥ 米軍帰還の際も、深夜・早朝、土・日などに飛行することのないよう配慮すること。

## 回 答【 北海道防衛局 】

- 協定については、平成19年1月26日に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認経過を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。
- 千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練や訓練空域、飛行経路、飛行方法などについて、米軍機は、航空自衛隊と同様の態様となります。
- 本道滞在中における米軍人の規律の維持については、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申入れを行っており、これまでと同様、当局からも米軍に申入れを行います。
- 訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えております。
- 日米を問わず、訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており十分な安全を確認していると承知しています。当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米側へ求めてまいりたいと考えております。
- 関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したいと考えております。
- 連絡調整協議会への出席については、今後、検討させていただきます。
- 当局の現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話については、本日のご要望を踏まえ、検討してまいります。
- 現地説明会の実施については、本日のご要望及びこれまでの実績を踏まえ、しかるべく検討したいと考えております。また、米側によるブリーフィングの実施についてですが、米側へしかるべく伝えたいと考えております。
- 米軍人の外出時等における局の対応についてですが、これまでの実績を踏まえ、必要に応じてサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。
- 訓練終了後の検証につきましては、これまでの実績を踏まえ、適切に対応してまいりたいと考えております。
- 民間チャーター機の深夜・早朝の飛行につきましては、米軍の運用上の理由により、事情やむを得ず実施する場合がありますが、極力その様なことが生じないように米側にも求めてまいりたいと考えております。

(お知らせ)

平成25年7月1日  
防 衛 省

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

- 期 間：平成25年7月8日（月）～12日（金）
- 参加部隊：〔米軍〕
  - 第35戦闘航空団（三沢）
  - 〔航空自衛隊〕
  - 第2航空団、北部航空警戒管制団
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプⅡ
  - 〔米軍〕
  - F-16×8機程度、人員約90名程度
  - ※人員、物資輸送のため輸送機が飛来予定
  - 〔航空自衛隊〕
  - F-15×8機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

**「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」  
での要請・質問事項及び回答**

**北海道防衛局より前回の協議会開催時（H25.6.17）に  
検討事項としたものについての回答**

- 現地説明会の実施につきましては、先日の要望を踏まえ、7月8日（月）午前中に実施することとしており、本日、実施のご案内を担当者からご連絡させていただきます。
- 米側によるブリーフィングの実施についてのご要望を米側へ伝えたところ、米側から実施可能との意向が示されました。このため、前回同様、当局による現地説明会に先立ち、米側によるブリーフィングを実施することとしております。
- 千歳市「連絡調整会議」への局職員の出席につきましては、ご要望を踏まえ、出席させることとしております。
- 当局の現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話については、前回同様、固定電話を現地連絡本部に訓練期間中設置することとしております。

**北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する「米軍再編に係る  
千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請**

6月17日の協議会の際にも、千歳市・苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など6項目を要請をし、貴局からも回答をいただいております。

重ねてのお願いとなりますが、先の要請事項について、再度お願いをするとともに、6月11日に発生した、在沖縄米軍による矢臼別演習場における実弾射撃訓練での場外着弾事故に鑑み、住民からは「米側の対応に懸念を抱いている」との意見も寄せられていることから、安全対策を十分に図り、対応についても丁寧なお願いをしたい。

## 千歳市の個別要請及び質問事項

6月17日の協議会において要請をさせていただいたが、再度、協定の順守とともに、「訓練全般にわたる安全の確保と、万が一にも事件が発生しないよう米軍人の規律維持を図っていただきたいこと」を重ねて申し上げる。

- ① 機材を輸送する輸送機の展開・撤収の日程はどのようになるのか。
- ② 米軍関係者の宿泊場所及び、米兵の外出の可能性についても教えてもらいたい。

## 苫小牧市の個別要請及び質問事項

### (個別要請)

- ① 6月17日開催の本連絡協議会におきまして、北海道・千歳市・苫小牧市で構成する連絡会議として、また苫小牧市といたしましても協定等の遵守のほか、機体点検の徹底など、訓練の安全管理及び米軍人の規律の維持について要請したところでありますが、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いいたします。

### (質問事項)

- ① 6月17日開催の本連絡協議会において、本年5月のF15戦闘機墜落事故に関し、事故原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うことを要請しましたが、その後の状況をお知らせいただきたい。
- ② 米軍参加部隊や在日米軍司令部関係者の苫小牧市への宿泊の可能性はあるのか。

## 回 答【北海道防衛局】

- 協定の遵守、規律の維持、安全確保及び情報提供等の6項目については、先日の連絡協議会においてもお答えさせていただきましたとおりです。  
また、先般の矢臼別演習場における場外着弾事故については、大変遺憾なものと考えております。当局といたしましては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米軍側に求めていく考えであり、これまでと同様、周辺住民の安心・安全のために最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えております。  
千歳市、苫小牧市からのご要請も、連絡協議会への回答をもってかえさせていただきます
- 輸送機の展開・撤収については、戦闘機については7月8日に展開し、12日に撤収する予定であります。人員、機材等の輸送については、現時点では、訓練の前後を予定しており、到着並びに出発しました際には、お知らせいたします。
- 訓練期間中の米軍関係者の宿泊場所については、訓練にあわせて来道する在日米軍司令部の関係者数名が千歳基地外に宿泊しますが、訓練に参加する三沢の部隊については、基地内に宿泊する予定と聞いています。また、宿泊先については、セキュリティに関する事柄でもあり、公表は差し控えさせていただきます。
- 米兵の外出の可能性については、米軍の指揮官の判断により決定されることとなりますが、過去の例からみて、外出があることが予想されます。
- 先般生じた嘉手納基地所属のF-15の墜落事故につきましては、現時点で事故原因を究明中であると承知しております。事故原因等について、どのような形で公表されるのかは分かりませんが、情報提供については可能な限り対応したいと考えております。

## H25.7.4～7.6 地域説明会の開催結果について

### 1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H25.7.4(木) 19:00～19:50	H25.7.5(金) 19:00～19:25	H25.7.6(土) 19:00～19:25
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端児童体育館	勇払公民館
出席者数	16人(男15、女1)	11人(男11、女0)	9人(男9、女0)
質問者数	3人	2人	3人

○三地区合計 出席者数 36人(男35人、女1人)  
質問者数 8人

### 2 三地区地域説明会における質問・意見等について

#### 【三地区で寄せられた質問・意見等】

- 訓練内容(回数・コース等)について・・・・・・・・・・ 5件
- 騒音測定体制について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- 沖縄負担軽減問題について・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- 事件・事故について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- 再編交付金について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

合 計 10件

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する

### 米軍ブリーフィング・北海道防衛局による説明会質疑応答

#### ●米軍ブリーフィング

##### ○【苫小牧市副市長 中野裕隆】

- ・今回の訓練参加機は、昨年7月に千島列島沖で墜落したF16戦闘機と同機種と思われますが、事故調査結果が公表され、事故原因は「操作不能になった主燃料遮断弁の閉鎖」としています。一方、これは先日の市議会が出た質問の中で、本年6月26日にアメリカ・アリゾナ州においてF16×1機が墜落したとの報道がありましたが、これらの件につきまして、お尋ねいたします。

##### ①再発防止策は講じられているのか。

<回答>

- ・事故原因が部分について、徹底的に機体を調べ、今後その様なことが無いように再発防止策を講じている。
- ・アリゾナの事故については、現在事故原因を究明中であり、機体等の整備もこれからの話になると思う。

##### ②住民は安全面と騒音に対し懸念を抱いておりますが、整備士やパイロットに対する教育や機体の点検・整備などはどのようにされるのか。

<回答>

- ・今回の再編訓練については、航空自衛隊が自主規制されているものもあるので、航空自衛隊のルールに従ってやっていきたい。整備も安全を第一に考えながら共同訓練に望みたいと考えている。
- ・騒音の懸念も十分承知しているので、2空団のF15の飛行経路を遵守しながら、皆様方には騒音の影響を与えないよう実施したい。
- ・F16の整備員たちは、常日頃から安全に対して非常に責任を持った人を連れてきているので、安全性は十分に確保されているものと思っている。

##### ○【NHK】

- ・訓練の時間的なスケジュールは。

<回答>

- ・調整によって若干時間帯が前後するかも知れないが、午前は9:30から10:30、午後は13:00から17:00を考えている。

○【苫小牧市議 渡辺満】

①今日の午後から訓練が実施されるのか。

<回答>

- ・そのとおり。午前中来る最中にもF15と空域で多少のオペレーションをしてからこちらに来ているので、本日が再編訓練初日であるという認識である。

②今回初めて三沢からだが、沖縄の負担軽減の認識はお持ちか。

<回答>

- ・確かに我々が来たのは三沢基地からですので、沖縄の負担軽減にはなっていないかと思うけれども、共同訓練を重ねる機会を得ているということで、我々の練度を向上させていただく良い機会ではないかと思っている。

○【UHB】

①沖縄の軽減になっていないということだが、三沢基地で軽減は図られているのか。

<回答>

- ・訓練期間中は千歳で訓練を実施する部隊と、通常どおり三沢で実施している部隊の2つが存在する。したがって千歳に来ている分は軽減されていると考えている。

②実弾演習はしないということだが、矢臼別に起因しているものなのか。

<回答>

- ・再編訓練についてはこれまでも実弾は搭載していない。空域では空対空の異機種での戦闘訓練を実施したいと思っている。矢臼別では実弾を使用している最中での事故と聞いている。米側としてそういった面は今後安全策等がとられていくと考えているし、安全な訓練が引き続き行われると思っている。

○【北海道新聞】

①具体的な訓練内容が決まっていれば教えていただきたい。

<回答>

- ・段階的に規模を大きくしていくが、今日の午後は1対1のドックファイトを実施する。
- ・再編訓練の後半では、敵と味方に別れて2対1のドックファイトを行う。段階的に発展していきたい。
- ・最初のドックファイトは互いが見える位置でやりながら、段階的に発展していった形では、無線等を使いお互いが見えない位置でも実施していく。
- ・訓練成果として残るような訓練を実施していきたい。

②今回参加機が多いが、多い機数を生かした訓練はしないのか。

<回答>

- ・空域のどこの場所を使用するということもあるが、最大でF16×4機、空自の参加機数は調整中である。

③残り2機が来なかった理由は。

<回答>

- ・第35戦闘航空団の本部の調整で、2機については明日到着する。

## ●北海道防衛局による説明会

### ○【北海道新聞】

- ・先ほど少佐が沖縄の負担軽減に繋がっていないと言っていたが、もともと訓練を受け入れた時は沖縄の負担軽減を強調して住民に説明されていた。沖縄の負担軽減に繋がっていないという発言について、今回の訓練の意義というのはどういったところにあるのか。

<回答>

- ・訓練移転については、日米間の相互運用性の向上ということと、三沢、岩国、嘉手納の米軍飛行場の諸活動における地元の負担、特に航空機騒音の軽減を目的にしているもの。しかしながら沖縄の負担がどの程度減少したかについては、確たることを現時点で申し上げることは困難。ただ、訓練移転を積み重ねることで少しずつでも目に見える形での軽減負担に努めていく考え。三沢基地からの訓練実施により、本来であれば沖縄で行われる可能性のあった訓練を沖縄以外で行うことにより、間接的には沖縄軽減に資するものと考えている。

### ○【苫小牧市副市長 中野裕隆】

- ・三沢基地からの訓練移転については、千歳基地においては今回が初めてですが、過去の嘉手納基地や岩国基地からの訓練内容と今回の訓練に違いはあるのか。

<回答>

- ・過去三沢はたまたま無かったが、訓練自体の主旨は変わらない。

### ○【苫小牧市議会議長 西野茂樹】

①実弾演習の今後の可能性は。

<回答>

- ・平成18年から再編訓練を国内で32回目、戦闘機戦闘訓練ということで、これまで実弾を伴わない訓練であり、現時点で実弾は使用しない訓練である。

②沖繩の負担軽減をしっかりと検証してほしい。その上で情報提供いただきたい。

<回答>

- ・沖繩の負担については、本来であれば沖繩に行く可能性があった訓練を千歳で受け入れていただくことによって、間接的に沖繩の軽減に繋がっているもの。それを数値的なもので目に見える形というのは現時点で申し上げる状況に無いことをご理解願いたい。

③実弾演習の「今後」について伺っているがどうか。

<回答>

- ・前回まではない。今回も無いというのが現時点である。

④「間接的に」という表現はやめていただきたい。当事者としてしっかりと検証してほしい。

<回答>

- ・今回の訓練は三沢の騒音軽減に資するものだと思っている。沖繩については確たることは申し上げられないが、沖繩の負担軽減に繋がる千歳における訓練移転だをご理解願いたい。

#### ○【苫小牧市議 渡辺満】

①今回の案内はF 16×8機程度だが、私達の情報では6機ということで聞いている。今4機が到着しているけれども、明日追加で到着するということが、機数自体も日米間では確認されていないという理解でよろしいか。

<回答>

- ・今回の訓練は、米側はF 16×8機程度で訓練するという情報。

②戦闘機事故があった場合、少なくとも原因究明が一定程度解明した後の訓練再開が我々の認識であった。F 16は6月26日にアリゾナで墜落している。その事も先ほど現在究明中であるとされていきました。自衛隊はそういう事故が解明されていない中で、問題無しという判断と受け止めて良いか。

<回答>

- ・現在、原因究明中であるという中で、米軍の運用で実施されているものと理解している。

③事故はあったけれども、それは相手側が解明すべきことで、防衛局としては何ら不都合が無いという説明をされたという理解で良いか。

<回答>

- ・先ほど米軍で回答したが、原因については鋭意究明している。米軍の運用上、防衛力を落とせないところで訓練がなされていると理解している。

○【千歳市議 佐藤仁】

①本部の対応について、市民は騒音についてあらかじめ知っていれば心構えができる。当日でも良いが離着陸情報を教えてもらえるのか。

<回答>

- ・米軍の展開・撤収、訓練の有無、開始終了時刻等の情報提供している。確たるものが出た時点で速やかに情報させていただく。

②F16は低空飛行の問題がある。今回の訓練で低空飛行をやらない確約はあるのか。

<回答>

- ・日本海と太平洋空域で行う訓練なので、基本的には低空飛行は無いと考えている。

③米軍の外出について

<回答>

- ・米側は訓練が終わったら外出できる事になっているのでご理解いただきたい。



# 千歳基地への訓練移転（共同訓練）について

平成25年7月8日（月）



北海道防衛局

## 目 次

- 1 在日米軍再編に係る訓練移転
- 2 平成25年度訓練計画
- 3 今回の訓練（共同訓練）の計画概要
- 4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置  
（1）現地連絡本部の編成  
（2）現地連絡本部の業務
- 5 これまでの訓練移転の実績

# 1 在日米軍再編に係る訓練移転

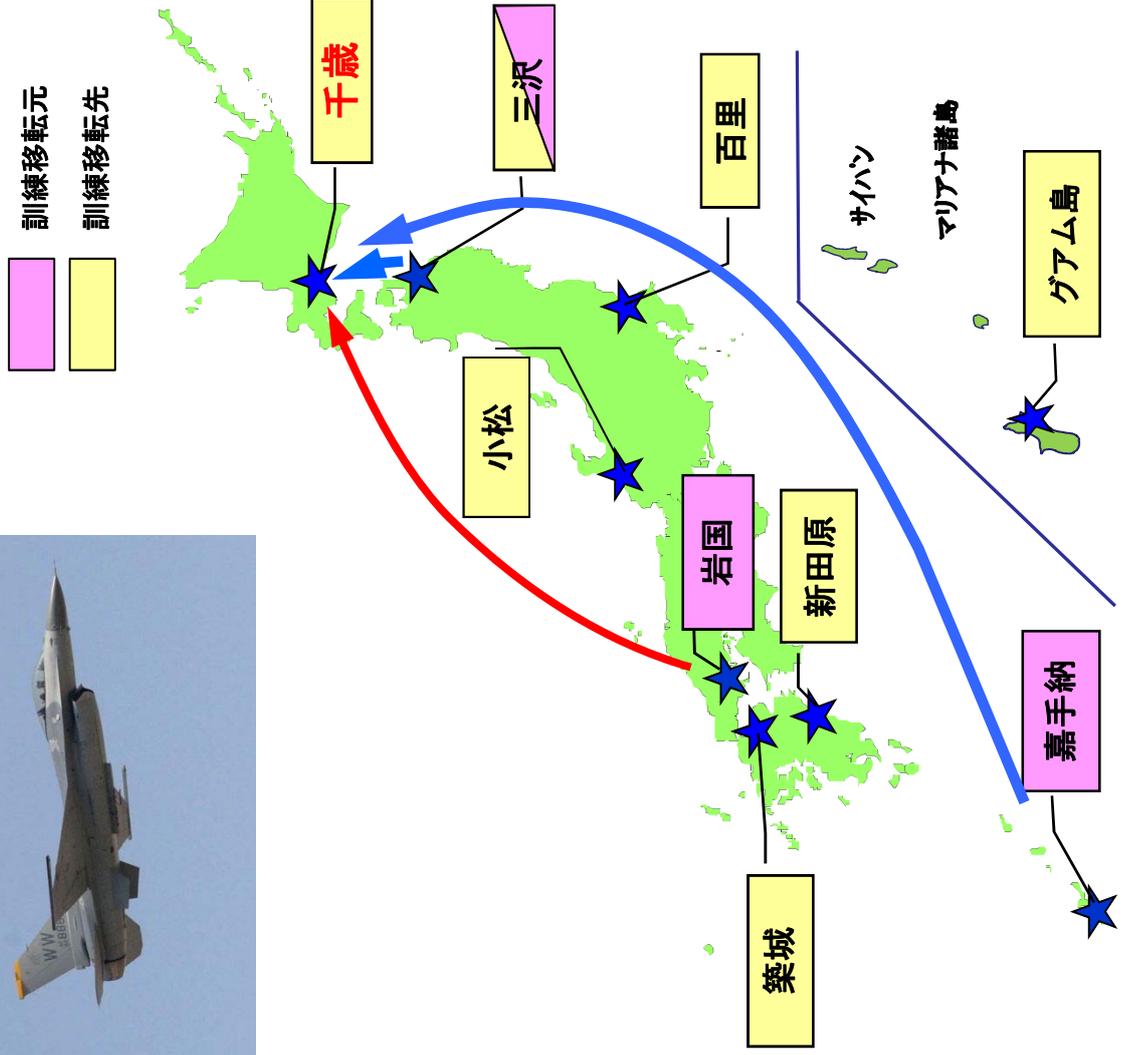
## 訓練移転の経緯

●再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月1日）に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

●また、平成22年5月の「2+2」共同発表において、両政府は、二国間及び単独の訓練を含め、米軍の沖縄県外への移転を拡充すること、及びグアム等日本国外への訓練の移転を検討することの決意を表明し、平成23年1月及び10月の合同委員会において、嘉手納における更なる騒音軽減を図るため、訓練移転先として新たにグアム等を追加することを日米間で合意



《F-16》



《F-15》

## 2 平成25年度訓練計画

米軍再編に係る訓練移転に関する平成25年度計画について  
(平成25年3月27日)

- 1 米軍再編に係る訓練移転については、平成25年度にグアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画する予定です。
- 2 平成25年度の訓練移転計画については、米軍の運用上の理由等により変更となる可能性があります。
- 3 なお、個々の訓練計画の概要については、決まり次第、関係自治体等にお知らせします。

(参 考)

訓練移転元の米軍飛行場：嘉手納、岩国、三沢飛行場

訓練移転先

：千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の各自衛隊  
基地並びにグアム等

本年度は、6月に新田原飛行場において実施しており、千歳は2回目

【タイプI訓練】1回につき、1～5機の米軍機が、1～7日間参加する訓練

【タイプII訓練】1回につき、6～12機の米軍機が、8～14日間参加する訓練

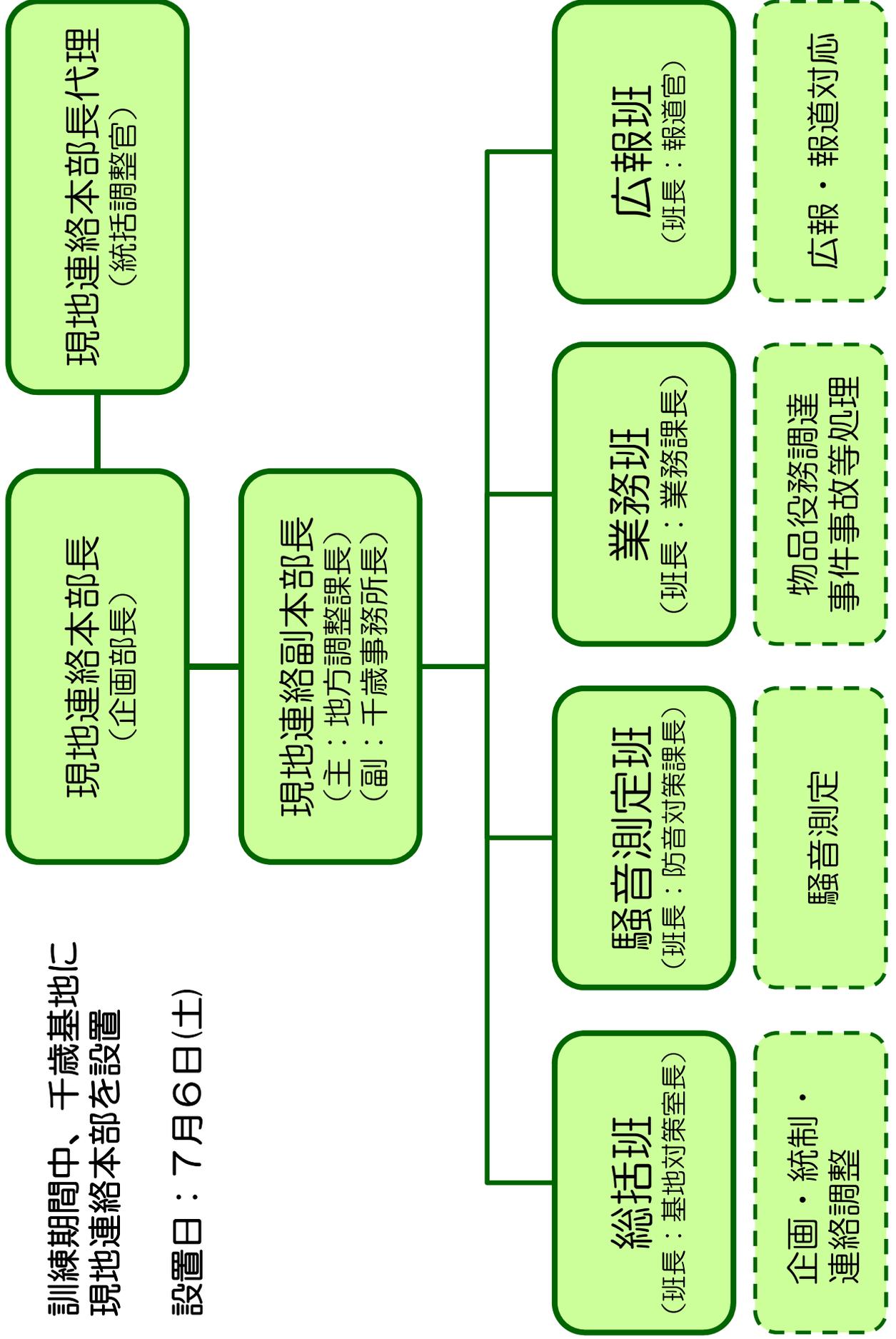
### 3 今回の訓練（共同訓練）の計画概要

項目	米軍	航空自衛隊
期日	平成25年7月8日(月)～12日(金)	
参加部隊	第35戦闘航空団 (三沢)	第2航空団(千歳)、 北部航空警戒管制団
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模	F-16×8機程度 人員約90名程度	F-15×8機程度
	タイプII訓練	

## 4 訓練移転現地連絡本部の編成

訓練期間中、千歳基地に  
現地連絡本部を設置

設置日：7月6日(土)



## 4 訓練移転現地連絡本部の業務

- 米軍への通訳支援、広報支援
- 米軍への食事・飲料水の調達等の支援
- 地元自治体、関係機関、報道機関への情報提供  
（訓練実施の有無）（騒音測定結果（速報値））など
- 各種問い合わせへの対応
- 日米戦闘機の騒音測定の実施



騒音測定作業状況



現地説明会実施状況



米軍ブリーフィング実施状況

## 5 これまでの訓練移転の実績

年 度	国 内	国 外	千歳基地での訓練
平成18年度	1回	—	実施せず
平成19年度	8回	—	2月実施 4日間 タイプI 岩国基地 FA18×4機
平成20年度	5回	—	12月実施 5日間 タイプI 嘉手納基地 F15×5機
平成21年度	8回	—	4月実施 4日間 タイプI 岩国基地 FA18×5機
平成22年度	4回	—	11月実施 12日間 タイプII 嘉手納基地 F15×12機
平成23年度	2回	3回	実施せず
平成24年度	2回	5回	9月実施 3日間 タイプI 岩国基地 FA18×4機
平成25年度	2回	0回	7月実施 5日間 タイプII 三沢基地 F16×8機 【今回】
計	32回	8回	千歳基地では6回目の訓練

※平成25年度は今回の千歳基地での実施までの回数

## 【参考】地元自治体との協定等

### 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定

(平成19年1月26日)

北海道防衛局と千歳市及び苫小牧市との間でそれぞれ締結

- 【内 容】
- 千歳基地の位置付け
  - 生活環境の整備について
  - 市民の安全・安心対策について
  - 移転される米軍機の訓練形式等について
  - 地元への情報提供について

### 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会

(平成19年1月29日)

北海道防衛局、北海道、千歳市及び苫小牧市との間で設置  
訓練計画の情報提供に関すること等について協議するために設置

#### 【オブザーバー参加】

厚真町、安平町、恵庭市、北広島市、栗山町、長沼町、由仁町

## 千歳基地への訓練移転実施内容(結果)について

期 間	平成25年7月8日(月)～平成25年7月12日(金)	
訓練回数	7月8日 午後1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 9日 午前1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 午後1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 10日 午前1回 米軍機 (F16×4機) 午後1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 11日 午前1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 午後1回 米軍機 (F16×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 12日 午前1回 米軍機 (F16×6機)、自衛隊機 (F-15×6機)	計 8 回
参加部隊	米 軍：第35戦闘航空団(三沢) 航空自衛隊：第2航空団(千歳)、北部航空警戒管制団	
使用基地	千歳基地	
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
使用訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模	タイプ II 訓練 米 軍 :F-16×6機 パイロットを含む米軍の人員 約80名 航空自衛隊 :F-15×6機 パイロットを含む整備人員外	
米軍の 移動関係	7月 6日：米軍の人員約10名(民航機使用) 到着 7日：米軍の人員約60名(米軍輸送機) 到着 ：米軍の物資(米軍輸送機) 到着 8日：米軍F16×4機・人員4名 到着 ：米軍F16×2機・人員2名 到着 12日：米軍F16×6機・人員6名 帰還 ：人員輸送のため米軍輸送機 到着 ：米軍の人員約60名(米軍輸送機) 帰還 13日：物資輸送のため米軍輸送機 到着 ：米軍の物資・人員約10名(米軍輸送機) 帰還	
米軍人 外出状況	外出あり(千歳市内)	
現 地 連絡本部	設 置:平成25年7月6日(土)	閉 所:平成25年7月13日(土)

## 訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

### 【苫小牧市】

苦情	2件	・戦闘機の音が非常にうるさい（訓練全般）
問い合わせ等	0件	

### 【千歳市】

苦情	0件	
問い合わせ等	0件	

### 【現地連絡本部】

苦情	1件	・自衛隊や民航機の音がうるさい
問い合わせ等	2件	・訓練を見れないのか ・米軍機の飛行経路を教えて欲しい



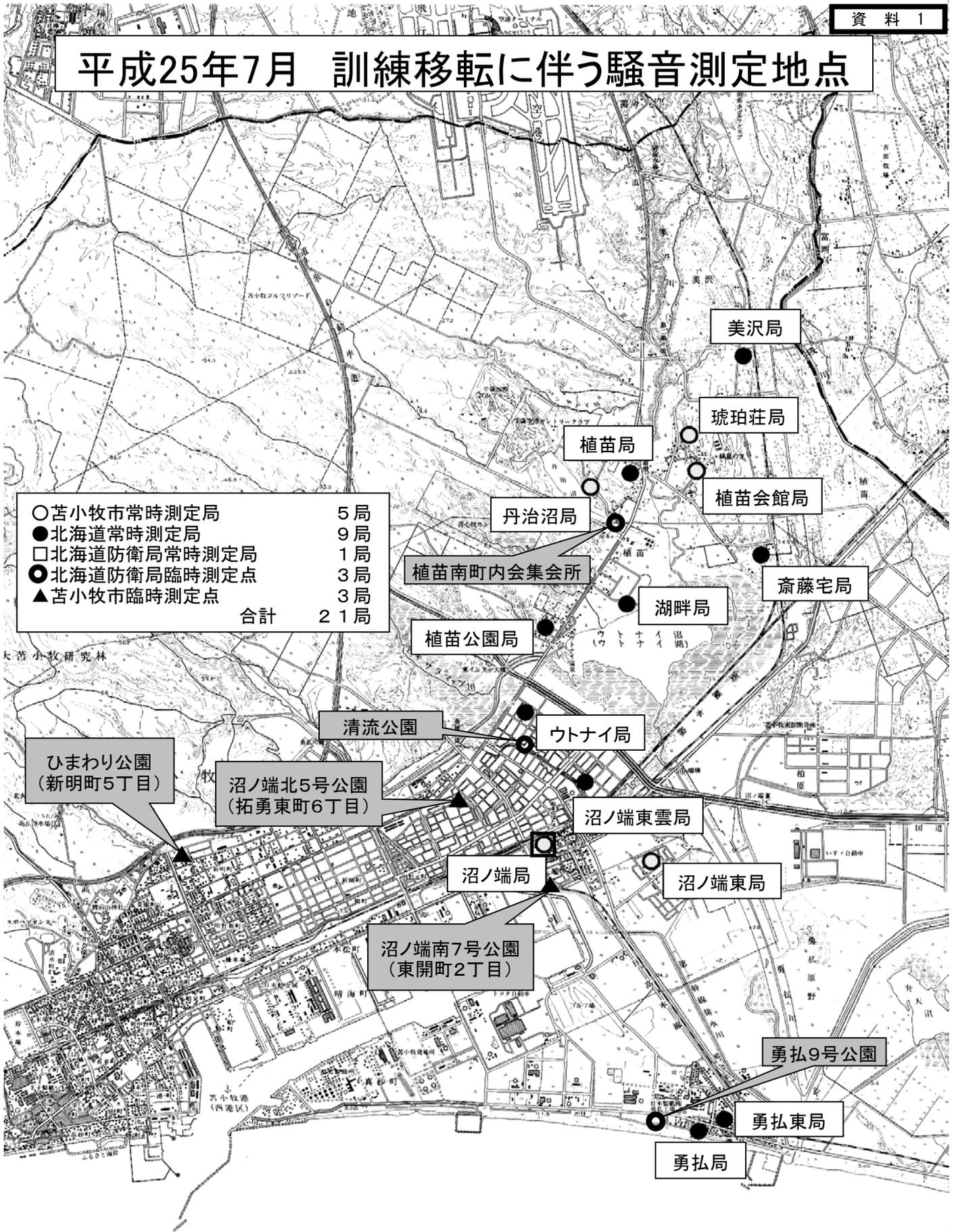
# 訓練移転に伴う騒音測定結果について

平成 25 年 7 月実施

## 資料

- 1 訓練移転に伴う騒音測定地点
- 2 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果 (dB 値)  
(苫小牧市臨時測定点および苫小牧市内常時測定局分)
- 3 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden
- 4 国の常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果・常時測定結果 (W値)
- 5 評価

# 平成25年7月 訓練移転に伴う騒音測定地点



平成25年7月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果(苫小牧市臨時測定点および苫小牧市内常時測定局分)

資料 2

日時・離着の別・機種		最大ピーク騒音レベル(dB)																		
		苫小牧市臨時測定点					北海道常時測定局													
測定場所		沼ノ端 北5号 公園	沼ノ端 南7号 公園	新明町 ひまわり 公園	植苗 会館局	丹治沼局	琥珀庄局	沼ノ端 東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美次局	湖畔局	斉藤宅局	植苗 公園局	勇払局	沼ノ端 東雲局	勇払東局		
7月8日(月)	飛来、訓練	訓練空域:太平洋方面(B)および日本海方面(C)																		
飛行	苫小牧 側着陸	F-16(米)×2機	72.7	74.8	-	-	-	-	77.5	-	77.4	-	-	-	74.2	-	-	71.1	-	
		10:19:26 10:20:09	10:19:26	10:20:09	-	-	-	-	10:20:13	-	10:20:39	-	-	-	10:20:56	-	-	10:20:24	-	
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00 11:21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	苫小牧 側離陸	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:40 14:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	千歳 側着陸	F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:52 15:02	74.6	76.8	-	-	78.7	-	79.9	75.7	83.0	-	72.9	-	86.4	-	82.4	-	-	-
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	-	-	-	79.4	89.6	76.6	76.7	74.5	85.8	75.9	89.4	71.3	82.8	76.9	-	-	-	-
		15:02 15:37	14:53:25	14:53:52	15:02:58	15:02:54	15:03:05	15:03:16	15:03:28	15:03:03	15:03:05	15:03:06	15:03:10	15:03:22	15:03:10	15:03:22	-	-	-	-
飛行	F-15(自)×2機	15:44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		15:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
飛行	F-16(米)×2機	15:56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		15:56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

日時・離着の別・機種		最大ピーク騒音レベル(dB)																
		測定場所				苫小牧市臨時測定点				苫小牧市常時測定局				北海道常時測定局				
		沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明町ひまわり公園	植苗会館局	丹治沼局	琥珀庄局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美次局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局
7月9日(火)	訓練	訓練空域:太平洋方面(B)および日本海方面(C)																
午前	苫小牧 側離陸	F-16(米)×2機	-	-	-	-	72.2	-	-	70.4	-	72.5	-	72.7	-	-	-	
		10:35	-	-	-	10:36:50	-	-	10:37:14	10:37:31	-	10:36:57	-	10:37:19	-	-	-	
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	70.2	70.4	71.3	-	-	-	-	-	-	-
		10:42	-	-	-	-	-	10:43:12	10:43:18	10:42:58	-	-	-	-	-	-	-	-
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	72.7	-	73.5	70.6	-	76.8	-	-	-	-
	10:49	-	-	-	-	-	-	10:51:08	10:50:52	10:50:59	-	10:50:53	-	-	-	-	-	
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	72.6	-	76.0	-	77.0	-	79.4	77.3	76.5	75.9	-	81.9	-	-	-	-
		10:55	10:56:52	-	10:57:01	-	10:56:23	-	10:56:30	10:56:44	10:56:29	10:57:42	-	10:56:34	-	-	-	-
		F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-15(自)×2機		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11:32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
午後	苫小牧 側離陸	F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		14:53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機	79.0	76.3	-	-	80.1	-	78.9	80.6	84.2	79.5	-	87.2	-	84.2	-	
		14:55	14:56:55	14:57:22	-	14:56:19	-	14:57:01	14:56:52	14:56:36	14:57:04	14:56:50	-	14:56:56	-	14:56:58	-	
		F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	73.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	15:06	-	-	-	-	-	-	-	15:07:26	-	-	-	-	-	-	-	-	
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	78.4	79.5	-	-	81.9	-	78.3	82.2	84.8	78.3	-	88.6	76.4	85.2	75.8	
		15:07	15:09:10	15:09:17	-	15:08:43	-	15:09:14	15:09:10	15:08:49	15:08:33	15:08:55	-	15:08:23	15:08:57	15:09:06	15:09:42	
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-15(自)×2機		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16:04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
千歳 側着陸	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	16:05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	16:07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



日時・離着の別・機種		最大ピーク騒音レベル(dB)																	
		測定場所				苫小牧市臨時測定点				苫小牧市常時測定局				北海道常時測定局					
		沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明町ひまわり公園	植苗会館局	丹治沼局	琥珀庄局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美次局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東雲局	勇払東局	
7月11日(木)	訓練	訓練空域：日本海方面(C)																	
午前	苫小牧 側離陸	F-15(自)×2機	-	-	-	-	74.7	-	-	72.6	-	-	72.4	-	-	70.5	-	-	
		9:40	-	-	-	9:41:00	-	-	9:41:26	-	-	9:41:16	-	-	9:41:12	-	-		
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.5	-	71.4	-	
		9:41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9:42:34	-	9:43:08	-	
		F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	75.5	71.4	72.2	-	-	71.0	-	-	73.0	-	
	9:44	-	-	-	-	-	9:45:52	9:46:12	9:45:28	9:45:42	-	-	9:45:42	-	-	9:44:52	-		
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	-	-	77.1	-	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:47	-	9:48:49	-	9:47:56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機	-	-	-	80.1	78.4	82.6	-	-	82.4	-	-	74.0	-	-	-	-	
		10:28	-	-	10:24:35	10:24:28	10:25:05	-	-	10:24:31	-	-	10:25:25	-	-	-	-	-	
F-16(米)×2機		-	-	-	-	-	-	-	-	72.5	-	-	-	-	-	-	-		
10:44	-	-	-	-	-	-	-	-	10:41:53	-	-	-	-	-	-	-			
午後	苫小牧 側離陸	F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		14:45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	75.1	-	-	-	77.0	74.4	-	70.8	73.0	-	-	-	
		14:48	-	-	-	14:48:46	-	-	14:48:46	14:48:46	14:49:06	-	14:48:55	14:49:00	-	-	-		
		F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	71.6	-	-	-	-	-	-	-	-	
	14:49	-	-	-	-	-	-	-	14:50:43	-	-	-	-	-	-	-	-		
	千歳 側着陸	F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		14:52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		15:37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F-16(米)×2機		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15:43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
F-16(米)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
15:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
16:02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

測定場所 日時・離着の別・機種		最大ピーク騒音レベル(dB)																				
		苫小牧市臨時測定点							苫小牧市常時測定局							北海道常時測定局						
		沼ノ端 北5号 公園	沼ノ端 南7号 公園	新明町 ひまわり 公園	植苗 会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端 東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗 公園局	勇払局	沼ノ端 東雲局	勇払東局				
7月12日(金) 訓練、帰還 訓練空域:太平洋方面(B)(訓練実施後、三沢基地に帰還)		79.5	79.4	-	-	81.2	-	79.9	81.0	77.5	86.3	-	76.3	-	88.3	-	84.7	-				
午前 苫小牧 側離陸	F-15(自)×2機 9:39	9:40:10	9:40:22	-	-	9:39:52	-	9:40:33	9:40:13	9:39:53	9:40:16	-	9:40:02	-	9:40:04	-	9:40:15	-				
	F-16(米)×2機 9:52	82.6	78.8	-	-	77.7	-	74.0	81.7	74.8	87.2	-	75.2	-	87.0	-	82.0	-				
	F-15(自)×2機 10:01	9:53:03	9:53:22	-	-	9:52:51	-	9:53:08	9:53:16	9:52:39	9:52:59	-	9:53:04	-	9:52:50	-	9:53:05	-				
	F-15(自)×2機 10:05	79.1	76.6	-	-	83.0	72.6	79.2	79.1	79.7	84.7	-	77.2	-	84.3	-	83.6	-				
	F-16(米)×2機 10:05	10:02:15	10:02:07	-	-	10:01:21	10:01:33	10:02:09	10:02:12	10:01:31	10:01:51	-	10:01:27	-	10:01:27	-	10:01:55	-				
午後 千歳 側着陸	F-16(米)×2機 10:23	76.6	78.7	-	-	75.3	81.0	75.7	79.9	80.9	83.9	70.8	77.1	-	86.0	-	82.1	-				
	F-15(自)×2機 10:21	10:06:15	10:06:40	-	-	10:06:19	10:06:06	10:06:39	10:06:34	10:06:13	10:06:25	10:06:13	10:06:17	-	10:06:16	-	10:06:32	-				
	F-15(自)×2機 10:21	78.7	74.8	-	-	80.0	-	75.0	78.4	75.1	83.4	-	79.7	-	85.5	-	82.6	-				
	F-16(米)×2機 10:23	10:22:36	10:22:30	-	-	10:22:05	-	10:22:51	10:22:44	10:22:04	10:22:35	-	10:22:09	-	10:22:04	-	10:22:44	-				
	F-15(自)×2機 11:11	79.7	79.3	-	-	79.6	-	75.2	84.2	76.9	86.0	-	78.4	-	88.4	70.8	84.5	-				
最高値	F-16(米) 離陸時	82.6	79.5	77.1	79.4	89.6	76.6	78.3	84.2	85.8	87.2	76.5	89.4	71.3	88.6	76.4	85.2	75.8				
	千歳側 着陸時	72.7	80.0	-	-	-	-	-	81.9	-	84.8	-	-	-	82.4	74.7	75.5	75.1				
	F-15(自) 離陸時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.5	-	-	-				
	千歳側 着陸時	79.5	79.4	-	75.1	83.0	72.6	79.9	81.0	79.7	86.3	73.5	79.7	-	88.3	-	84.7	-				
	F-15(自) 着陸時	-	80.3	-	-	-	-	-	-	76.4	-	77.7	-	-	75.5	72.5	-	72.5				
【参考値】	平成24年度 (年間)	-	-	-	87	94	90	90	98	90	104	92	93	90	100	100	90	104				
	これまでの訓練移転の最高値	-	-	-	74	76	74	75	78	75	80	74	75	75	78	74	77	74				

【備考】

- ① 測定値は、70dB以上の音が5秒以上継続したデータです。
- ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測がなかったことを表しています。
- ③ 上記表中の騒音値は最高値の発生時刻を表しています。
- ④ 参考値の平成24年度(年間)の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。

## 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden

単位: dB

測定日	局舎名	苫小牧市常時測定局					北海道常時測定局								
		植苗 会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東 局	沼ノ端局	植苗局	美沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗 公園局	勇払局	沼ノ端 東雲局	勇払東局	
訓練移転 期間	7月8日(月)	47	58	45	51	54	57	55	46	56	48	58	50	57	50
	7月9日(火)	40	59	-	55	56	58	59	46	57	46	60	51	59	51
	7月10日(水)	-	58	-	51	57	59	55	49	59	46	58	54	55	54
	7月11日(木)	44	58	45	54	52	57	55	48	56	48	58	50	57	52
	7月12日(金)	44	58	45	53	55	57	59	47	56	48	60	50	59	49

## 平成25年度Lden 経月変化 (苫小牧市常時測定局)

月	項目	単位: dB				
		植苗 会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東 局	沼ノ端局
4月	日最大	53	64	54	55	59
	平均	46	58	47	51	51
5月	日最大	51	61	51	54	61
	平均	42	58	43	51	52
6月	日最大	53	60	53	55	54
	平均	41	56	41	49	0
7月	日最大	47	59	46	55	60
	平均	39	55	39	49	51

## WECPNL(W値) 経年変化 (苫小牧市常時測定局)

年度	項目	単位: dB				
		植苗 会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東 局	沼ノ端局
平成22年度	7月 平均W値	54	68	54	62	65
平成23年度		55	69	55	63	67
平成24年度		52	68	53	62	63
平成25年度		50	67	51	60	64

※ Lden 夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベル。騒音測定機器が技術的に進歩したことと諸外国の動向から、平成25年度よりWECPNLに代わり環境基準の評価指数として採用されています。(一般的にLden+13=WECPNLとなります)

※ 環境基準 苫小牧市騒音測定局での環境基準はLden 62dB以下です。(平成25年3月31日まではWECPNL 75以下でした。)

※ 備考 ① 上記表中の「-」は航空機騒音の観測がなかったことを表しています。

② 北海道常時測定局の値は確定前の値です。

③ 平成25年4月より北海道の測定システム更新により、データ処理方法が変わったため、経年・経月・経年変化は苫小牧市常時測定局のみとしています。

## 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）							
			苫小牧市		千歳市			千歳市					苫小牧市		
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
7月8日 移動 及び 訓練 初日	午前	着陸 10:23 F-16×2機 (米軍機)	77.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57.0	79.3	72.2
		着陸 11:00 F-16×2機 (米軍機)	—	—	76.2	77.7	80.0	76.2	76.9	81.3	80.0	—	—	—	—
		着陸 11:21 F-16×2機 (米軍機)	—	—	73.5	78.6	89.9	73.5	73.5	83.0	89.9	—	—	—	—
	午後	離陸	14:40 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			14:50 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			14:52 F-15×2機 (自衛隊機)	76.1	—	—	—	—	—	—	—	—	78.0	82.3	61.2
		着陸	15:02 F-16×2機 (米軍機)	75.2	—	—	—	—	—	—	—	—	89.0	79.2	65.9
			15:37 F-16×2機 (米軍機)	—	—	77.4	—	88.6	71.8	71.8	68.8	88.6	—	—	—
			15:44 F-15×2機 (自衛隊機)	—	73.6	85.4	—	88.6	75.0	76.3	70.0	88.6	—	—	—
			15:46 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	77.6	78.9	91.0	73.5	74.1	78.7	91.0	—	—	—
			15:56 F-16×2機 (米軍機)	—	—	80.4	76.5	86.8	70.0	75.1	78.2	86.8	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1 No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認  
 注2 機種・機数・飛行時刻欄の飛行時刻は、航空機が離陸及び着陸を行った時刻であり、各測定点での騒音発生時刻を記載したものではない

# 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）								
			苫小牧市		千歳市			千歳市					苫小牧市			
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	
			沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中 公園	武道館	千歳公園	青葉局	北新 コミセン	植苗南 町内会 集会所	清流公園	勇払9号 公園	
7月9日 訓練 2日目	午前	離陸	10:36 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.0	71.7	57.8	
			10:42 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.2	67.3	—
			10:50 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71.0	66.3	—
			10:55 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.9	76.3	56.3
		着陸	11:24 F-16×2機 (米軍機)	—	—	79.2	72.8	85.4	72.3	72.9	74.7	85.4	—	—	—	—
			11:33 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	75.8	76.0	89.6	74.1	72.6	77.8	89.6	—	—	—	—
			11:50 F-15×2機 (自衛隊機)	—	73.6	78.1	81.2	92.3	76.5	73.1	80.0	92.3	—	—	—	—
			11:54 F-16×2機 (米軍機)	—	—	75.3	71.7	82.1	68.4	73.2	79.4	82.1	—	—	—	—
	午後	離陸	14:53 F-16×2機 (米軍機)	72.8	—	—	—	—	—	—	—	—	71.0	74.4	69.8	
			14:53 F-15×2機 (自衛隊機)	72.8	—	—	—	—	—	—	—	—	74.0	73.0	58.4	
			14:55 F-15×2機 (自衛隊機)	80.4	—	—	—	—	—	—	—	—	79.0	86.1	66.2	
			15:07 F-16×2機 (米軍機)	82.2	—	—	—	—	—	—	—	—	81.0	85.1	76.8	
		着陸	15:59 F-15×2機 (自衛隊機)	—	76.8	75.1	70.8	87.2	69.8	71.2	68.1	87.2	—	—	—	
			16:03 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	74.9	75.1	81.0	79.2	65.1	75.1	—	—	—	
			16:06 F-16×2機 (米軍機)	—	—	74.1	—	83.6	73.8	68.0	71.4	83.6	—	—	—	
			16:08 F-16×2機 (米軍機)	—	—	73.6	75.7	85.5	68.2	74.0	86.9	85.5	—	—	—	

注1 No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認  
 注2 機種・機数・飛行時刻欄の飛行時刻は、航空機が離陸及び着陸を行った時刻であり、各測定点での騒音発生時刻を記載したものではない

# 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻			常時測定局 (ピーク騒音レベル(dB))					臨時測定点 (ピーク騒音レベル(dB))							
				苫小牧市	千歳市				千歳市					苫小牧市		
					A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7
				沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中公園	武道館	千歳公園	青葉局	北新コミセン	植苗南町内会集会所	清流公園	勇弘9号公園
7月10日 訓練 3日目	午前	離陸	10:49 F-16×2機 (米軍機)	—	81.3	92.1	81.3	99.6	92.7	91.0	81.9	99.6	71.2	—	—	—
			11:16 F-16×2機 (米軍機)	—	81.8	96.0	80.9	99.4	95.0	93.4	82.7	99.4	76.7	—	—	—
		着陸	11:56 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62.5	80.9	68.8
			12:14 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	64.9	81.6	69.6
	午後	離陸	14:44 F-15×2機 (自衛隊機)	—	88.6	100.2	86.2	104.9	95.0	93.3	86.9	104.9	83.0	—	—	—
			14:46 F-15×2機 (自衛隊機)	—	83.4	101.5	—	102.7	93.0	89.2	83.7	102.7	75.1	—	—	—
			14:48 F-16×2機 (米軍機)	—	80.9	97.8	86.6	104.8	95.4	93.6	88.2	104.8	78.4	—	—	—
			14:53 F-16×2機 (米軍機)	—	80.5	95.8	88.8	101.5	96.0	93.6	87.8	101.5	78.3	—	—	—
		着陸	15:52 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			15:53 F-16×2機 (米軍機)	77.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	79.1	71.5
			15:58 F-15×2機 (自衛隊機)	77.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.9	81.6	76.5
			16:11 F-16×2機 (米軍機)	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.0	86.4	76.0

注1 No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認  
 注2 機種・機数・飛行時刻欄の飛行時刻は、航空機が離陸及び着陸を行った時刻であり、各測点での騒音発生時刻を記載したものではない

# 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局（ピーク騒音レベル(dB)）					臨時測定点（ピーク騒音レベル(dB)）									
			苫小牧市		千歳市			千歳市					苫小牧市				
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8		
		沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中 公園	武道館	千歳公園	青葉局	北新 コミセン	植苗南 町内会 集会所	清流公園	勇弘9号 公園			
7月11日 訓練 4日目	午前	離陸	9:40 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71.9	65.7	—	
			9:41 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.0	67.1	—
			9:44 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.7	70.5	—
			9:47 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		着陸	10:28 F-15×2機 (自衛隊機)	—	79.3	86.8	—	85.6	82.3	64.4	—	85.6	62.8	—	—	—	
			10:44 F-16×2機 (米軍機)	—	—	70.8	70.5	88.3	77.1	78.2	73.2	88.3	55.4	—	—	—	
			10:45 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	76.0	70.6	87.0	80.7	65.8	84.4	87.0	—	—	—	—	
			10:50 F-16×2機 (米軍機)	—	76.6	79.2	83.9	76.5	81.8	72.9	83.0	76.5	61.3	—	—	—	
	午後	離陸	14:45 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			14:48 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.0	70.9	54.2	
			14:49 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.0	65.1	—	
			14:52 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		着陸	15:37 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	73.2	—	93.1	71.6	62.1	75.0	93.1	—	—	—	—	
			15:43 F-16×2機 (米軍機)	—	—	—	77.0	71.9	81.3	80.7	69.0	71.9	51.8	—	—	—	
			15:46 F-16×2機 (米軍機)	—	—	74.6	—	83.6	70.1	66.4	69.9	83.6	—	—	—	—	
			16:02 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	73.4	79.7	72.2	80.2	83.3	70.1	72.2	54.4	—	—	—	

注1 No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認  
 注2 機種・機数・飛行時刻欄の飛行時刻は、航空機が離陸及び着陸を行った時刻であり、各測点での騒音発生時刻を記載したものではない

# 常時測定局及び臨時測定点の騒音測定結果

北海道防衛局

測定 月日	測定場所 機種・機数・飛行時刻		常時測定局 (ピーク騒音レベル(dB))					臨時測定点 (ピーク騒音レベル(dB))								
			苫小牧市		千歳市			千歳市					苫小牧市			
			A	B	C	D	E	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	
		沼ノ端局	寿局	住吉局	都局	青葉局	末広中 公園	武道館	千歳公園	青葉局	北新 コミセン	植田南 町内会 集会所	清流公園	勇払9号 公園		
7月12日 訓練 5日目 最終日	午前	離陸	9:39 F-15×2機 (自衛隊機)	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	78.8	85.3	63.2	
			9:52 F-16×2機 (米軍機)	82.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.8	87.5	71.5
			10:01 F-15×2機 (自衛隊機)	80.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81.0	84.6	71.0
			10:05 F-16×2機 (米軍機)	80.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.4	84.5	70.2
			10:21 F-15×2機 (自衛隊機)	77.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78.9	83.4	58.3
			10:23 F-16×2機 (米軍機)	84.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81.4	85.8	72.9
	着陸	10:39 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	75.3	80.9	89.9	73.7	73.8	79.5	89.9	—	—	—	—	
		10:52 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	77.9	82.3	89.5	73.9	76.2	78.0	89.5	55.2	—	—	—	
		11:11 F-15×2機 (自衛隊機)	—	—	77.4	—	87.9	73.7	72.3	74.8	87.9	58.1	—	—	—	

注1 No.4の青葉局について：通常、常時測定局（青葉局）は無人で測定を行っているが、日米共同訓練時には測定員を配置し機種及び機数を確認

注2 機種・機数・飛行時刻欄の飛行時刻は、航空機が離陸及び着陸を行った時刻であり、各測点での騒音発生時刻を記載したものではない

常 時 測 定 結 果 (W値)

○訓練期間中の日々の測定結果 (日米共同訓練を含むすべての航空機音から算定した数値)

測定場所 測定日		WECPNL (W値)				
		苫小牧市	千歳市			
		A 沼ノ端局 (75W以上 80W未満)	B 寿局 (80W以上 85W未満)	C 住吉局 (85W以上 90W未満)	D 都局 (75W以上 80W未満)	E 青葉局 (90W以上 95W未満)
訓練移転 等 期 間	7月8日	68.9	75.3	82.9	72.0	87.7
	7月9日	64.3	75.5	80.2	68.8	84.1
	7月10日	72.7	72.7	89.2	70.8	93.0
	7月11日	60.6	75.1	72.4	67.4	78.3
	7月12日	65.8	75.9	70.5	68.8	80.7

○平成25年の直近3ヶ月及び平成24年7月 (今回の訓練と同月) の測定結果

平成24年	7月 (月間の最大値)	73.1	76.9	88.1	78.1	91.8
平成25年 直近3ヶ月	4月 (月間の最大値)	70.7	78.4	87.4	73.6	90.4
	5月 (月間の最大値)	76.8	77.2	86.1	72.2	89.1
	6月 (月間の最大値)	65.8	76.7	86.6	72.7	89.0

WECPNL (W値) とは

航空機騒音の「うるささ」を表す単位であり、発生時間帯 (昼間、夕方、夜間) など諸要素を加味した総合的評価指数。「加重等価継続感覚騒音レベル」のこと。

## 評価

## ○騒音測定結果について（資料 2）

苫小牧市、北海道の常時測定局 14 局における測定値については、平成 24 年度の当該局の最高値と比較して、全ての局で下回っていました。

※ 臨時測定点を含めた全局における最高値（資料 2、資料 4）

米軍機(F-16)	丹治沼局(市常時)	89.6dB(7月8日 午後訓練離陸時)
自衛隊機(F-15)	植苗公園局(道常時)	88.3dB(7月12日 午前訓練離陸時)

## ○Lden について（資料 3）

苫小牧市常時測定局における日 Lden 値については、直近 3 ヶ月間の日最大値と比較して、全ての局で同等または下回っていました。

今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日 Lden 値から、第 2 航空団が行っている通常訓練と同等程度でありました。

## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会（訓練検証）の結果

### 北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する「米軍再編に係る 千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」及び北海道としての要請

今回の訓練が事件・事故もなく無事終了したことに安堵しております。

北海道としましては、今後の訓練においても、住民の不安や懸念を解消が必要と考えており、千歳市や苫小牧市との間の締結した協定を遵守していただくよう、お願いいたします。

また、訓練日程の早期通知など適切な情報の提供、更に、事件・事故が発生しないよう、安全対策に万全を期すことについて、対応をお願いいたします。

また、別件で6月11日に矢臼別演習場での米軍の訓練で起こりました場外への着弾事故があり、住民は非常に不安を感じています。

米軍が訓練を実施する際には、事故等が起こらないよう、国の責任において安全対策を実施するとともに、適切な情報提供を行っていただきたいと思います。

### 千歳市の個別要請

この度の訓練については、協定の遵守をはじめ、訓練計画の2段階による事前公表、国設置の連絡協議会の開催のほか、市民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまで国と協議してきた事項について、適切に実行されたものと受け止めています。

こうした成果もあって、訓練期間中の事件・事故などの報告も無く、無事に終了したことにお礼を申し上げ、次回についても同様の対応をお願い致します。

次に、当市の第2回定例会が6月28日から開会されましたが、議会や市民からは「沖縄の負担軽減について明らかにするよう国に求め、市民に対して説明すべき」との質問や意見があります。

国においては、市民に対して、訓練移転の実施が沖縄の負担軽減になっていることについて「明確な形」で示していただきますようお願い申し上げます。

次に、当市の騒音値におきましては、米軍機の騒音値と自衛隊機の騒音値に大きな違いが無かったところであり、また、これまでの訓練移転における最大騒音

値を超えるものではなく、著しく騒音の変化があったとまではいえない結果でありました。

当市としては、引き続き騒音測定データの蓄積に努めてまいります。

最後に、国においては、今後とも「市民の安心・安全の確保」のため様々な対応について、特段の配慮を改めてお願い致します。

## 苫小牧市の個別要請

今回の訓練を踏まえまして、苫小牧市から要請事項が5点ございますので、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

- ① これまで国は「米軍機は航空自衛隊と同様の態様となる」旨回答されておりましたが、今回の米軍人の飛来・帰還及び物資の輸送に際し、米軍輸送機が土日に飛行されたことから、民航機を利用するなど、土日の飛行には十分配慮願いたい。
- ② 訓練開始前の米軍ブリーフィング及び北海道防衛局による説明会につきましては、住民代表の参加を含め、今後とも継続して開催していただきたい。  
また、限られた時間であることは理解をしておりますが、質問の時間などにご配慮いただくとともに丁寧な対応をしていただきたい。
- ③ 国設置の騒音臨時測定局については、今後の訓練時においても、同位置にて継続していただきたい。
- ④ 当市において、今回の訓練は市議会とは重なりませんでした。今後の訓練移転におきましても、出来る限り議会日程に配慮していただきたい。
- ⑤ 訓練前の本連絡協議会でも申し上げてきましたが、今後の訓練移転に対する住民の不安を払拭する意味でも、本年5月のF15戦闘機墜落事故に関し、事故原因及び今後の対策について、改めて情報提供などの対応をお願いしたい。  
また、米軍ブリーフィングの場でも申し上げましたが、6月26日にアメリカ・アリゾナ州においてF16戦闘機×1機が墜落した件につきましても同様に、事故原因等の情報提供など重ねてお願いしたい。

## 回 答【 北海道防衛局 】

- 協定の遵守については、今後も千歳市、苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守し、訓練移転を実施してまいります。
- 適切な情報提供については、今後も引き続き、関係自治体や報道機関等への情報提供について、可能な限り対応したいと考えております。
- 事件・事故に対する安全対策については、防衛省として、米軍関係者の規律の維持について、米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図るなど、様々なレベルで申し入れを行っており、訓練移転の実施にあたっては、改めて米側に求めていきたいと考えております。
- 訓練時の安全確保については、日米を問わず平素より定期整備、飛行前・飛行後に安全点検等を実施していると承知しておりますが、引き続き、訓練移転の実施にあたっては、改めて米側に求めていきたいと考えております。

矢臼別演習場における場外着弾事故は、地元の方々のみならず、基地を抱える他の地元自治体の方々にも大変な御不安、御心配をお掛けいたしました。

当局としましては、再編訓練におきましても、地元の皆様方に御不安や御心配をお掛けしないよう、しっかりと安全対策を実施するよう、米側に強く求めていきたいと考えております。
- 市民の安心・安全の確保については、これまでと同様、米軍が千歳基地滞在中は現地連絡本部を設置し、24時間体制で地元自治体や報道機関への情報提供、各種問い合わせへの対応を行うとともに、周辺住民の安心・安全のために最大限努力する考えでおります。
- 米軍再編に係る訓練移転は、日米間の相互運用性の向上を図るとともに、三沢、岩国及び嘉手納飛行場における訓練活動に伴う地元の負担を軽減することを目的として、これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において31回実施されており、今回の千歳で32回目であります。

今回は三沢基地周辺の地元の負担軽減、ひいては、再編関連米軍基地周辺の地元の負担軽減に寄与していると考えています。

この訓練移転に伴い、沖縄の負担がどの程度軽減したかについて、現時点で確たることを申し上げることは困難ですが、訓練移転を積み重ねていくことで、

少しでも、目に見える形で地元負担の軽減になるよう努めていく所存です。

- 米軍帰還の際の深夜、早朝、土日の物資や人員輸送に係る米軍輸送機や民間チャーター機の飛行は、米軍の運用上の理由により事情やむを得ず実施する場合があります。

今回も米軍の運用上、日曜日の到着（7/7）及び土曜日の帰還（7/13）が生じたところですが、今後も引き続き、十分配慮するよう米側に求めてまいりたいと考えております。

- 住民代表を含めた現地説明会、米軍ブリーフィングの継続開催については、今後の状況を見て判断したいと考えております。

この度の貴市からのご要望は、次回の訓練移転実施にあたっては、米側へしっかりと伝えたいと考えております。

また、質疑応答につきましても、限られた時間の中での説明会及びブリーフィングではありますが、当局としてもご要望を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

- 国設置の騒音臨時測定局の同位置継続設置は、貴市からのご要望を念頭に、次回の訓練移転実施時においても検討させていただきます。

- 議会日程への配慮については、各部隊の訓練所要、訓練スケジュール等に考慮しつつ、日米間で所要の調整を経て決定されることをご理解願います。

- F-15及びF-16墜落事故の原因究明等の情報提供については、日米を問わず、訓練に参加する航空機については、平素より定期整備、飛行前、飛行後点検等を適正に実施し、十分な安全を確保していると承知しています。

ご指摘の、嘉手納基地所属のF-15墜落事故及び米国アリゾナ州におけるF-16墜落事故につきましては、現時点で事故原因を究明中であると承知しております。

事故原因等についてどのような形で公表されるのかは分かりませんが、情報提供については可能な限り対応したいと考えております。

いずれにしても、当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、引き続き米軍側に求めていく考えであります。

## 苫小牧市の検証結果

- ・事務処理チェック表等を活用し、担当課にてシミュレーションを行うなど、事前の訓練対応準備を十分行うことができた。
- ・過去の訓練と同様に、国の連絡協議会開催のほか、住民等の対応窓口となる現地連絡本部が設置され、また、訓練計画の通知も2段階であり、地域説明会の開催など事前準備を予定どおりに行うことができた。
- ・これまでと同様に戦闘機見学、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会が開催された。
- ・ホームページへの掲載及び庁内の情報伝達については、速やかな公表・伝達を行うことができた。また、新聞の「市役所だより」や概略通知日の関係で可能となった「広報とまこまい」にも掲載することができ、より広く住民周知を行うことができた。
- ・今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日W値から、第2航空団が行っている通常訓練での範囲内であった。
- ・「米軍帰還の際も、深夜・早朝、土・日などに飛行することのないよう配慮すること」と苫小牧市が要請していたが、訓練前日の7日（日）に米軍輸送機で米軍人約60名、さらに帰還の際にも13日（土）に米軍輸送機で米軍人約10名が物資と併せて帰還した。

### 【改善事項】

- ・地域説明会の開催案内を航路下住民に同じ内容で2回全戸配布していたが、前回の説明会時に混乱を招くとの指摘があったため、1回に改めたが特に問題は無かった。
- ・千歳基地への派遣職員について、これまでの実績を踏まえ2名から1名に改善したが、特に問題は無かった。
- ・現地連絡本部からの訓練情報について、空港政策課から各担当部署への情報提供はこれまでどおりとし、各担当部署から関係施設への情報提供については必要部分のみとしたが、特に問題は無かった。